

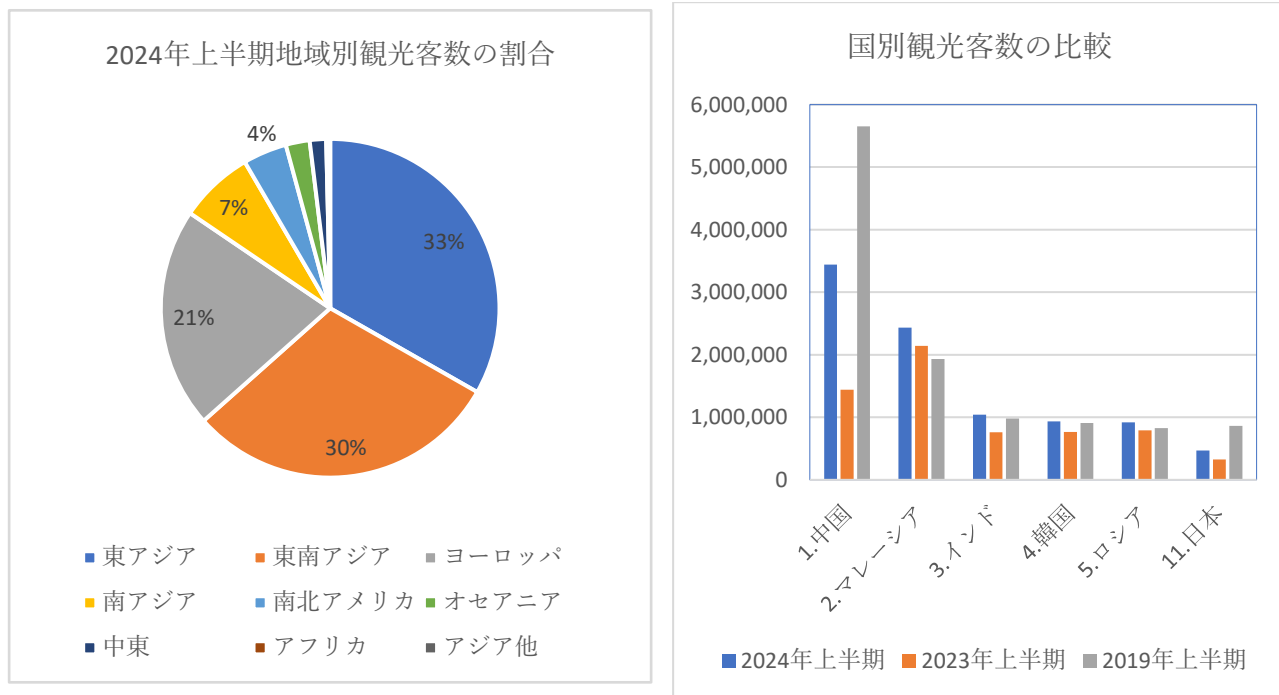
## 2024 年タイにおける外国人観光客回復の現状

今年に入り、バンコクでは最近一時的に少なくなっていた日本人旅行者の方も数多く見かけるようになりました。そこで、今回はタイにおける外国人観光客回復の現状についてレポート致します。

観光業はタイの産業を大きく支えるものであり、以前から人気の旅行先として知られていました。コロナ禍直前の 2019 年、タイでは海外からの観光収入が 600 億ドルを超えて世界第 4 位となりました。しかしながら、世界的なパンデミックの影響で、GDP に占める観光客からの収入の割合は、2019 年には約 16.2%だったところが、2020 年には約 5.1%、2021 年にはわずか約 1.5%となり、大きなダメージを受ける事となりました。

とはいえ、2021 年 11 月にワクチン接種完了者に対して隔離なし入国を認める『Test & Go』が開始されて以降は、ほぼ一貫して外国人観光客の増加が続いていました。2023 年時点でも外国人来訪者数は前年比で 2.5 倍となるおよそ 2810 万人となり、2019 年（約 4,000 万人）との比較では 7 割強の水準まで回復していました。

また、2024 年上半期の観光客がどこの地域や国から来たかをまとめた表が下記となります。



※国名の頭の数字は、2024 年上半期の観光客数ランキング

アジアの周辺国からの観光客数が大きく伸びている中、日本人観光客の数は 2019 年上半期に国別順位で 6 位を記録した 864,379 人と比べて半分以下に減少して、2023 年上半期では 15 位まで落ち込みました。円安の影響が大きいとされますが、2024 年上半期のデータでは、11 位まで上昇しています。

1 位の中国人観光客の数も 2024 年上半期になってようやく 2019 年上半期の 6 割ほどまで回復しました。

2024 年上半期時点でも、すでに 1,750 万人の外国人観光客が訪れ、世界的に海外旅行に対するモチベーションがコロナ禍前を目指すかのように回復してきています。タイ政府は、2024 年の総外国人観光客数「4,000 万人」と観光業での総収入「3 兆 5,000 億バーツ（約 14.8 兆円）」を目標としているとの事です。これにより得られた収入を活用し、タイ政府は観光エリアを中心に整備を進め、観光客がより安心して快適に滞在できる環境を整えていく方針を発表しています。タイにおいても景気は良くない状況ですが、こと観光業においては確固たる地位を築いていると言えます。